

ふかまのまじ

第二四号 〇四年〇九月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 〇三三三八二

町会連合会活動報告

一、盆行事(八月十五日)
太鼓踊りの町内巡回と千川神社への奉納を行った後、深小学校の会場では、十九時三十分から開会のあいさつと新仏への黙禱から始まりました。
演技は小学生と壮青会による太鼓踊りと、昨年に引き続き獅子舞が登場して演目として伝わる六種目全部を披露しました。
続く盆踊りには約一〇〇名の踊り手が参加して、二つ拍子、三つ拍子、伊勢音頭を踊り通しました。
最後のビンゴゲームには、約三〇〇名が参加して昨年よりも増額した景品を楽しみに盛り上がりました。

二、役員会(八月二十日)
九月二十日(敬老の日)に実施する深町敬老会の実施計画について協議しました。
本年は市の補助金が敬老対象者一人当たり二五〇〇円になり増額となる五〇〇円は記念品に振り向けることとしました。
演芸は地元のみで実施します。(事務局) ▲▲



深小だより

二年生担任 成松 美夏
四月から元気いっぱい二年生と一緒に深小学校で生活を送るようになって、早くも一学期が終わって二学期が始まるとうとうです。
深小学校で過ごさせていたただくようになってから、四季の移り変わりを肌で感じ、生き物の声を聞きながら子ども達と過ごす喜びを感じています。二年生では、生活科で深小の周りを子どもたちと一緒に歩き、地図をつくる活動をしました。地図を眺めながら感じたのが、子ども達に見て野菜の成長を喜んだり、田んぼに水がはってあるのは何故かを考えたり、蛙のダイビングに声をあげて笑ったり、つばめが巣立ちに興味を示したり、と表情がくるくる変わるのです。
そんな中で学校と家庭と地域が連携して子ども達を育てていく大切さをひしひしと感じています。
一学期だけでも、田植えや町民運動会、廃品回収などさまざまなことをさせていたただく中で子ども達はそれぞれ感じたことを表現しながらのびのびと成長していています。家庭や地

子ども会だより

ソフトボール・キックベースボール 試合報告：ソフト三位

子ども会会長 小川和彦

町内の皆様方には、平素より子ども会活動にご支援、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。
さて、八月二日(土)に「第四五回防犯少年少女球技大会」が、三原運動公園で行われ、ソフトボールチームが見事三位に輝きました。又、キックベースボールチームも元氣一杯のプレイをしました。



試合結果

○ソフトボール
一回戦 深町一〇〇 南小ベアーズ
二回戦 深町〇一〇 三原パワーズ
三位決定戦 深町三一 宇和島
○キックベースボール
一回戦 深町一一 二田野浦連合 ▲▲

二十三日



中組町内会長 広川 弘之

二十三日は、中組のお盆行事で聖光庵(現町民会館)横の神社に祀ったお地蔵のお祭です。今年八月二日に行いました。例年八月二三日夜に行われたのでこの名がついたそうです。
今年も深町町民会館においてお地蔵さんと聖光庵の阿弥陀さん、惣仏さんの三つを併せて、大通寺による法要を行いました。その後、簡単な食事をしながらそれぞれの親睦を深め、食事後は太鼓踊りに始まり、手踊り、最後にビンゴゲームで終了しました。

事前準備に汗を流していただいた講役員、又ご家族の方々に心より感謝すると共に、二十三日という地域文化の継承を限られた時間ですが多くの人達と楽しく過ごすことが出来ました。本当にありがとうございます。▲▲

域の皆様に見守られ、協力していただきながら、子ども達と共に私も成長していきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願致します。▲▲

女性会だより

女性会フレッシユミズの会

この度、「ぶりていウーマン」として発足しました。仕事・家事・子育てと毎日忙しさに追われるなか、自身をリフレッシュして親睦を深めていかなければと思っております。
七月二十七日(火)、ボーリングと食事で楽しみました。



《お知らせ》
九月二五日(土)は焼肉パーティーを予定しています。
時間 午後一時
場所 深町町民会館

どなたでも参加できます。お子さまづれでもOKです。女性だけの楽しいひとときを過ごしましょう。
(女性会フレッシユミズの会) 代表 吉野 美都枝 ▲▲

テーマタイム 陶芸

中之町 丹花 咲多子

深町阿弥陀平という地名の場所に窯を築いて六年が経ちます。準備期間を入れると十年になりました。
その間、深町の皆様にはとても親切にしてくださいました。車の離合、出逢う人々との会話、子供達の元氣な挨拶。時々、車を止めておしゃべり。
いつも温かい笑顔と優しい言葉で私達は励ましていただきました。その恵まれた環境の中で、焼き物作りを続ける事が出来ています。



お陰様で今年も個展という大きな仕事をいただきました。作品作り、窯焚き、準備に大忙しの毎日でした。
テーマタイムのお話を深小学校の敷本校長先生からいただいた時は、丁度忙しい真最中でした。

最初はお断わりするしか無いと思いましたが、夫でなくても構わないとお聞きしました。受けさせていただきました。十一人(四、六年生)の子供達は真剣に取り組み、小さな指先から、次々とオリジナル作品が生まれます。子供達の感性は素晴らしいです。一人一人が自由な個性を輝かせている子供達に私は感動しています。▲▲

深町各種団体九月行事予定

◆町内会連合会	二十日
▼深町敬老会	日時未定
▼体育委員会	
◆小学校・幼稚園	
▼始業式・安全点検	一日
▼三年生 桃学習	二日
▼弁当はじめ	六日
▼参観日	七日
▼避難訓練・集金日	九日
▼貯金日・ライオン号	
▼保健指導・体位測定	十日
▼おじいちゃん・おばあちゃん参観日	十三日
▼英語活動・小学校学習体験(如水館中)	十四日
▼子育て支援事業	十五日
▼修学旅行	十六、十七日
▼テーマタイム	二十四日
▼英語活動	二十八日

◆女性会

▼親睦会	上	第三水曜
	中	第一木曜
	下	第二日曜
▼焼肉パーティー		二五日

展望席

二〇〇三年の日本人の平均寿命は、女性八五・三三歳(世界一)、男性七八・三六歳(世界三位)。今年三月末の、人口増加率は最低の〇・一%、六五歳以上の老年人口の割合は十九・二四%と、少子高齢化がさらに進んだ。このことが、年金問題にも大きく影響しているようです。

こんな世の中、少子高齢化のことなど心配せずに、子を頼らず、元気で長生きしてピンピンコロリ(PPK)といくことを目指しましょう。老化防止には、「三かく」が一番といえます。汗をかく、ものを書く、恥をかく(年甲斐もなく新しいことに挑戦する)の三つです。ゲートボールで汗をかくたり、「ふかまのまじ」に投稿したり、おしゃべりをしたり、下心を持って新たな恋に挑戦してみるのも良いでしょう。

もし、ボケてきても、「ボケる力(老人力)」がついてきた」と喜び、若い者には、「お前達はまだボケられないだろう」と自慢してみよう。私も近頃、知人に会った時、名前を忘れさせて、しばらく余計な話をしながらその人の名前を思い出したりしています。そうなるのも仕方ないことなので、「今日はこんなボケ方をした」というのを楽しみ、自分のとんでもない失敗を発見して、これも楽しみの一つとしてみたいと思います。
若い娘は「箸が転んでもおかしな年頃」と言われていますが、年をとっても何事も面白おかしくとらえて、いつも笑顔で元気に、若い者に大きな世話にならないように暮らしたいものです。

深の歴史こぼれ話(4)

長寿

中組 高崎 壽郎

みなさんは、「上寿」という言葉とその意味をご存知ですか。広辞苑で調べてみますと、「人の寿命の長さを上・中・下に分けたその最も長いもの」で、「寿命の長いこと」「百歳または百二〇歳」とあります。ですから、上寿は、古希(七〇)喜寿(七七)傘寿(八〇)米寿(八八)卒寿(九〇)白寿(九九)のように、長寿をお祝いする歳と考えてもよいでしょう。

わが深町に、昨年百歳を越えて百二歳まで長寿を保たれた方がおられました。

それは、明治・大正・昭和・平成の激動の時代を生き抜かれ、平成十五年(二〇〇三)の春、天寿を全うされた久保サダノさんです。

生前、久保さんに長寿の秘訣をおききすると、

○食べ物に好き嫌いをしない

○ものごとくにこだわらない

○ひきこもらず、できることは自分でする、でした。

たいへん参考になる言葉だと思います。

石井綾君・古川愛君 野球全国大会で健闘



日本リトルシニア野球選手権大会(八月二日・神宮球場で開催)に出場した三原中央リトルシニアチームは、初戦で横浜中本牧チームと対戦しました。結果は七対四で敗れましたが、この相手チームはこの大会で優勝しました。強豪を相手に力一杯善戦した三原中央リトルシニアチームと、このチームの選手として活躍した石井綾君・古川愛君の健闘を称え、大きな拍手を送りたいと思います。なお、石井・古川両君から感想文が次のとおり寄せられました。

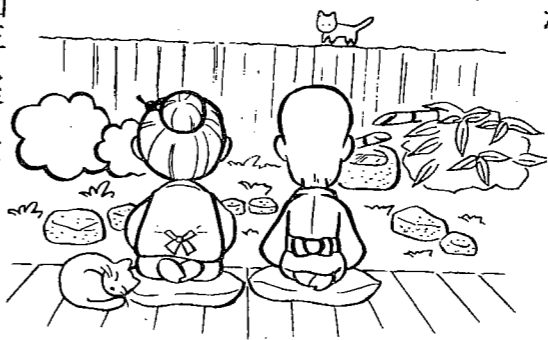
(編集室)

▲▲

ある古老に昔のことを尋ねると「九九歳の長寿は聞いたことがあるが」といわれました。九九歳の坂は容易に越せないようです。

その意味でも、久保さんの百二歳は貴重であり、大記録だと思います。

尚、広辞苑には、百二〇歳も上寿とありますが、なぜでしょう。人の寿命が延びたからでしょうか。



昭和三十八年(一九六三)編集の深郷土誌をみますと、九十歳以上の長寿者は、川上ヒナさんの九二才が一名でした。

本年、平成十六年(二〇〇四)は九〇歳以上の方が谷岡恒子さんの九九歳を最高になんと、十五名もおられます。

ある著名な医者は、「人間は百二〇歳までは生きられる」と言っておられます。

これからは、百歳代も珍しくない時代が来るのかもかもしれません。みんな、元気で長生きしたいものですね。

全国大会に行つて

深町 二中二年 石井綾

僕たちのチームは、全国大会へ行って来ました。

全国大会に、行く事が決まった時は、すごくうれしかったです。試合までの練習は、特に力が、入りました。神宮球場の土を、踏んだ時は、ここで、プレーしたいなと思つた事と、ここで、プロの選手が、プレーしているんだと思うと、ヤル気がわいて来ました。

結果は、残念ながら、負けたけど、いろんな体験が、できて良かったです。

体格も大きい人が、多く、パワーも、有りそうな人ばかりでした。自分も、もつと、もつと、大きくなって、活やくしたいです。

来年も、神宮に、行けるように、がんばろうと思います。そして、高校生になつて、野球部に入つて、甲子園に、出場して、たくさん活やくしたいです。

▲▲

隨筆

ラッキョウ

中之町 河野 強

掘りたてのラッキョウを、妻のお姉さんがミカン箱一杯送ってくれた。今年はずの外暑く、毎日三十分を越す真夏日が続く。掘るのも大変な仕事だったろうに、去年掘れなかつた所を今年掘つたとかで、太りは今いちで小さい。矢張り毎年株分けをし植え替えたほうが太りは良いそう。え、小さいのは分けて捨てた。「小さいのは分けて捨てたんだ」と言われたが、折角掘つたのに勿体ないと根ひげ等包丁で切り落とす。一個一個なかなか手間な作業なので、妻は「辛気臭い仕事じゃけえ私にはむかんわ」といつて逃げてしまひ、とうとう私におしつけられた。とうとう私にじつと座つて手先の仕事で楽しそうに見えて、なかなか難儀な作業だ。足はしびれ、幾度か尻をうごうご座り直し、我慢してやつと済んだのはもう日暮れだった。

短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内 博満

紫陽花は

夏の陽射しに褪せにけり
咲き誇りたる面影もなく

貰いたる蔓なき朝顔愛しむ

見事に咲きて妻と楽しむ

日が暮れて恐々覗く屋根裏に

雀蜂の巣三つ下がりて

▲▲

あしがれの 神宮球場の思い出

深町 二中二年 古川 愛

ぼくが、神宮球場で思つた事は、いつも、テレビでみている球場に自分達がいるなんて、不思議な感じがしました。

試合は二日目の一試合目で、相手は中本牧と言うチームでした。相手の選手の身長はみんな一七〇センチ以上にみえました。最初エースピッチャーがでてこなかつたけど、三原が一回に

三点取つたことで最後にエースピッチャーがでたから点がとれなかつたけど、最後にエースを引きずり出せてよかつたです。こんどぼくらが三年生になります。神宮でやりたいと思

います。

▲▲

子供の頃、母が夏の暑い昼下がりに、涼しい木陰で事もなげにやっていたのはよく見ていたが、こんなに難儀な仕事とは知らなかつた。

昔は、切つたラッキョウを一斗桶へ入れ、水をそそぎ、棒木をXの字に縛りこしこし回し、薄皮をむき、よく洗つて水をきり、いったん塩漬けにし、合わせて酢も煮て作り、冷ましてから瓶に入れたラッキョウの中へ入れていた。そして、一年ぐらいたつて食べさせてくれた。

それが今は、瓶に「ラッキョウ酢」と表示した酢をそのまま漬けていいと書いてある。便利になつたものだ。

保存食として作つていたものが、今は一カ月もたたず食べられるというスピード時代になつたものだ。

母が「酢は体にいいのだからラッキョウを食べなさい」とすすめていたが、子供の頃は酢の臭いが嫌いで、しかもすっぱくあまり食べなかつた。



今頃、酢は血液を浄化する最高の健康食品で、特に中国産の黒酢が良いとTVも宣伝しているが、酢だけ飲むのは私は嫌いで飲む気になれない。

その点、酢漬けのラッキョウは年を重ねるにつれて「おつな風味」と抵抗がなく食欲増進に最高だと思つている。

先般、ふとした病気でやむなく入院した時、食事にラッキョウがおかずに出され、はつと頭をかすめ、瞬間今は無き母の姿がかしく思い出され、なにか胸があつくなるものがあつた。

▲▲

お詫び申し上げます

下組 小林 徳蔵

七月末日、わが家、不始末をしておかしました。多大なご迷惑をおかけしました。

幸い、初期の消火ができましたが皆様のご助力のお蔭と心から感謝を申し上げます。

今、専ら事後処理中です。まずは本紙をお借りしお礼を申し上げます。

▲▲

※「契約トラブルの解決のため」には、今月は掲載を休みます。